

出産後の痔の悪化 補中益気湯が有効

Q 四十歳、女性。五年前に二女出産後、痔（じ）が悪化して困っています。脱肛（だっこく）ぎみになり便秘すると時に出血します。くしゃみで尿失禁することもあり、恥ずかしい思いをしています。外科で座薬をもらっていますがはかばかしくありません。漢方によい薬はありますか。

A 痔で人知れず悩んでいる人は大変多く、質

問者のように出産をきっかけとする脱肛や失禁で悩んでいる女性は珍しくない。こうした症状は妊娠中に骨盤内の血行が悪くなり、出産時にゆるんだ骨盤底の筋肉の緊張が戻らないために起こる。漢方ではゆるんだ筋肉を整え、骨盤内や局部の血行が良くなるように治療する。

最も一般的な痔の漢方薬は乙字湯（おつじと）であるが、質問者のような例では補中益気湯（ほちゅうえつきとう）や桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）の併用をお勧めしたい。補中益気湯は胃下垂などによく使うが、升麻（しようま）という筋肉の緊張調節に有効な生薬を含んでいる。桂枝茯苓丸には血行を改善し、うつ血をとる作用があるので、痔の治療にしばしば併用する。

出血が頻繁に起き、貧血ぎみの患者には十全大補湯（じゅうぜんたいほとう）もよい。江戸時代の名医・華岡青洲創製による紫雲膏（しゅうんこう）という名前の塗り薬があり、やけどや切り傷の治療などに使われるが、痔にとってもよく効くことでも知られている。